

コクリート生産性向上検討協議会 前回までの議論

- コンクリート工の生産性向上を進めるための課題、取組み方針、全体最適のための規格の標準化などを検討することを目的に、有識者委員及び関係団体、研究機関、発注機関が参画する「コンクリート生産性向上検討協議会」を平成28年3月に設置
 - ・ 第1回 (H28.3.3) : 協議会の設置
 - ・ 第2回 (H28.3.31) : 今後の取組み方針と検討体制・項目について議論
 - ・ 第3回 (H28.9.28) : 新技術の導入方策等について議論
 - ・ 第4回 (H29.3.17) : スランプ規定やサプライチェーンマネジメント等について議論
 - ・ 第5回 (H29.10.10) : 全体最適の導入、今後の検討方針等
 - ・ 第6回 (H30.3.15 (今回)) : 要素技術の一般化、全体最適を図る方法の検討等

・有識者委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>前川 宏一</u> (東京大教授、協議会会長) ・ 綾野 克紀 (岡山大教授) ・ 石橋 忠良 (JR東日本コンサルタンツ(株)取締役 技術統括) ・ 小澤 一雅 (東京大教授) ・ 橋本 親典 (徳島大教授) ・ 久田 真 (東北大教授) <p style="text-align: right;">(敬称略)</p>
・関係団体	道路プレキャストコンクリート製品技術協会、日本建設業連合会、全国建設業協会、日本建設躯体工事業団体連合会 東京建設躯体工業協同組合、全国基礎工事業団体連合会、建設コンサルタンツ協会、全国生コンクリート工業組合連合会、コンクリート用化学混和剤協会、プレストレスト・コンクリート建設業協会、全国コンクリート製品協会、全国土木コンクリートブロック協会
・研究機関、発注機関	国土技術政策総合研究所、土木研究所、港湾空港技術研究所、東日本高速道路、水資源機構、国土交通省

前回の主な議論について

項目	主な議論の内容について	対策
規格の標準化について	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型構造物のPCa採用には、どのようなプロセスが必要になるか。構造物別のPCa導入状況や国内外事例を参考にしながら、工事規模に応じて、整理してほしい。大型構造物へのPCa導入検討に際しては、ターゲットを絞ることが重要である。 ● 規格の標準化においては、形状の単純化や種類の絞込みなど、PCa製品自体の生産性向上の取組みや、接合部や目地などの品質確保も重要である。 	資料3
建設生産プロセスで最適化を図る技術・工法の導入について	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体最適の検討については、発注者の標準図が現場打ちとなっており、PCaの検討自体が難しい状況である。特に大型構造物のPCa採用にあたっては、工事発注段階での技術提案では遅く、計画、設計段階で検討が必要である。 	資料4
建設現場におけるサプライチェーンマネジメントの導入について	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンについて、生コンクリート工場では貯蔵施設の状況を踏まえた検討を進めてはどうか。また、プレキャスト工場については、輸送費がネックになっていることもあり、物流に焦点をあてた検討を進めてはどうか。 ● サプライチェーンマネジメントの導入として、製造者側と施工者側の生コン情報の共有化が必要ではないか。今後、試行により効果を検証していく。 	資料5